

力^ん 編

浦戸諸島のカキに触れてもらうイベント「浦戸のカキ体験」で、浦戸諸島で生活する皆さんに、カキの養殖場やカキのむき方について、教えてもらいました。



浮きのほかにも、海に杭を打ち込み吊るす方式や、筏に吊るす方式などがあります。

かた うつ み のぶよし
カキのむき方を内海吉さんが
おし 教えました。真剣しんけんに取り組
んでいとるうちに、皆みなさんから「食
べるのはいいけど、これを毎日まいにちや
るのは大変たいへんだね…」という声こゑがあ
がりました。

殻^{から}付きカキ^つを焼^やき、自分^{じぶん}
で殻^{から}をむいて食^たべました。
「カリッ^やと焼^やいてもおいし
い！」など、話^{はなし}がはずんで
いました。

さん か 参加してみて、とく たの かに楽しかったのはカキむき体験です。カキむきでは、かしばしら たいげん 貝柱をとるところがむずか かん さん か 難しいと感じました。また参加したいです。

つき みしょう ねん ひらつかかける
月見小5年 平塚翔塁さん



塩竈を訪れた文学者たちの言葉にふれて

俳句を詠んでみよう

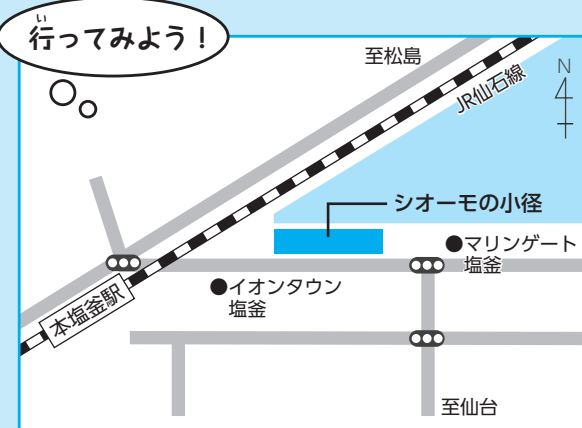
明治時代以降、塩竈市にはさまざまな文学者たちが訪れています。そして、訪れたときの様子を言葉にし、塩竈をモチーフにした作品を残しています。「シオーモの小径」には、文学者たちの残した言葉が刻まれています。

皆さんも、文学者たちと一緒に、私たちが住む塩竈を見つめてみませんか。

シオーモの小径って？

シオーモの小径は、海岸通地区にある海沿いの遊歩道です。そこには、塩竈市を訪れた詩人や歌人、文学者たちが残した言葉を刻んだ石碑が並んでいます。

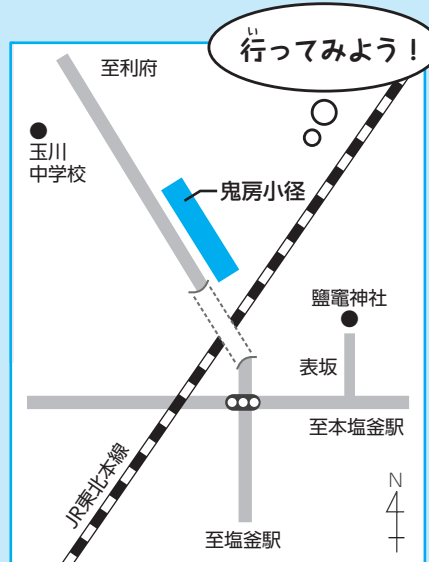
シオーモの小径は、平成22年に完成し、翌年に起きた東日本大震災によって多くの石碑が倒壊するなどの被害がありました。今年7月に、石碑を再設置するなど整備しなおされ、復旧が完了しました。石碑には、震災で傷ついた跡が残っています。



佐藤鬼房さんってどんな人？

シオーモの小径には、佐藤鬼房さん(1919年-2002年)という塩竈に住んだ戦後を代表する俳人の句碑もあります。

市内には佐藤鬼房さんが詠んだ俳句の世界を表現した「鬼房小径」という場所があります。さまざまな形の句碑があり、鬼房さんの直筆で書かれた俳句が彫られています。皆さんも、鬼房小径で俳句巡りをしてみましょう。



どんな人が塩竈にきたの？

シオーモの小径には、正岡子規、田山花袋、与謝野寛・晶子夫妻、斎藤茂吉、若山牧水、北原白秋、宮沢賢治、高橋睦郎、佐藤鬼房の文学碑が9個あり、10人11作品が刻まれています。教科書で見たことがある文学者もいるのではないのでしょうか。

籬嶋

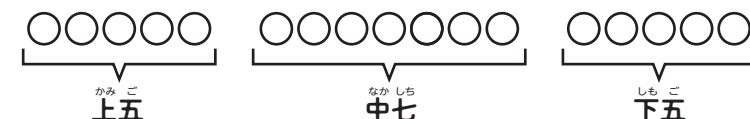
涼しさのこゝを扇のかなめかな 子規

みんなも俳句を詠んでみよう！

塩竈市在住の俳人であり、俳誌「小熊座」編集長の渡辺誠一郎さんに、俳句を詠むコツを教えてくださいました。

はじめに

5・7・5は、それぞれ以下のように呼びます。



1 下五に、5文字を当てはめる

皆さんが発見した5文字のものを当てはめてみましょう。5文字なら、どんなものでもいいですよ。

2 中七に、下五の説明を当てはめる

1で当てはめた5文字のものが、どんなものなのか7文字で説明してみよう。「○○○○○○な」「○○○色の」だと当てはめやすいかもしれませんね。

3 上五に季語を当てはめる

最後に、季節の言葉を当てはめましょう。冬でも暖かい日なのか、とても寒い冬なのか、季語で表します。聞き手の想像が膨らみますね。

気軽に一句詠んでみよう！

塩竈には、佐藤鬼房という俳人がいますし、過去には松尾芭蕉も訪れました。奥の細道には、塩竈の句は記録されていませんが、芭蕉が見た風景を今の君たちが巡って、芭蕉の気持ちになって詠むのもいいですね。塩竈は歌枕の地でもあり、俳句を詠むには、とてもいい場所だと思います。自分の思いを5・7・5で表して、季語が入れば俳句になります。一緒に風景を見ながら、友達同士作りっこしたり、好きな人へのメッセージで一句作ったりするなど、皆さんも、楽しみながら一句詠んでみてください。

一句詠んだら、応募しよう！

佐藤鬼房記念 第二回 塩竈市ジュニア俳句コンクール

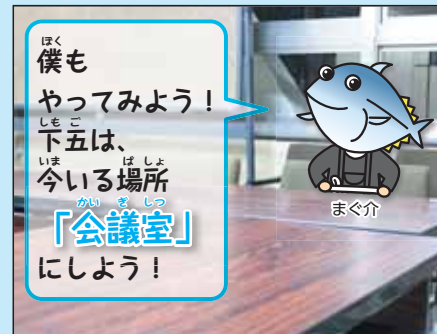
小中高校生の皆さんに俳句に慣れ親しんでほしいと「第二回塩竈市ジュニア俳句コンクール」が開催されています。今回は、市外や県外からの応募を含む3,700句以上の応募がありました。皆さんの思いや感じたことを、俳句にして応募してみましょう。

応募作品全てに目を通し、各賞を決める「選句」を行います。(渡辺誠一郎さん：写真右)

応募方法

- 未発表作品一人3句まで応募できます。
- 投句用紙または200字原稿用紙に、住所・氏名・学校名・学年を記入し、応募してください。
- 投句は無料です。
- 受賞発表は、2月末を予定しています。

応募締切 令和2年1月30日(木) 当日消印有効
応募先 〒985-0072 塩竈市小松崎11-19 渡辺裕子方
ジュニア俳句コンクール事務局
電話・ファクス 022-367-1263



中七は、会議室の特徴を入れる
あっ！「電話が5台」あるな…



9月から10月にかけて、日本各地で台風や大雨の大きな被害があり、被災地を支援するための活動が行われました。玉川小学校のボランティア委員会も台風第15号の被災地のために募金活動を行い、日本赤十字社を通じて寄付を行いました。



募金をしようと思ったきっかけ

校外の人たちのために何かできないかと考えていたときに、台風第15号の被害をニュースで見ました。東日本大震災のときに塩竈はたくさん支援をしてもらっていたので、今度は私たちが台風の被災地の人のためにできることをしたいと思い、募金活動を行いました。

募金活動の発起人



今野和凜さん(玉小5年)



佐々木琴乃さん(玉小5年)

これからの活動

今は、被災地を支援する活動を知ってもらうための新聞やポスター作りをしています。被災した人々への手紙を届けられないかも考えています。
ほかに学校の必要な備品をそろえる活動や、外国の人たちの助けになるような活動に取り組んでいます。いろいろな活動を通してたくさんの人が楽しく笑顔になれるようにみんなで頑張ります！



「命の大切さと思いやりの気持ちを伝える」

第一小学校に菊池助治さん殉道碑が建てられました

大正13年1月20日、塩竈小学校（現在の第一小学校）の男子児童2名が、旧玉川堤（現在の法務局塩釜支局）で氷滑りをして遊んでいたところ、突然氷が割れて二人とも水中に落ちてしまいました。たまたま通り掛かった多賀城村（現在の多賀城市）の菊池助治さんが駆けつけ、すぐに一人を助け上げました。もう一人も救おうと自らの危険もかえりみず、対岸から氷の上を這うようにして近づき救おうとしましたが、氷が割れて児童と共に水中に沈んでしまいました。

痛ましい事故の歴史と菊池さんの功績を伝えるため、9月17日、NPOみなとしほがまにより殉道碑が新しく建てられました。

児童を救おうとした菊池さんの思いはとても尊いものです。冬休みにこのような悲しい事故が起こらないよう、危ないところで遊んだり、近寄ったりしないように気を付けて過ごしましょう。

